

課題番号：処-201

課題名	廃炉プロセス「処理・処分・環境回復（燃料に由来するα核種が含まれる廃棄物含む）」 検討対象「廃棄物の減容化、廃棄体化」 課題「減容化手法」	時間軸情報	汚染水対策				
			使用済燃料プールからの燃料取り出し				
段階	Design		燃料デブリ取り出し				
			PCV/RPV/建屋の解体				
ニーズ	望ましい状態とその理由		輸送・保管・貯蔵				
			処理・処分・環境回復				1
		(参考) 関連する研究課題					
1	廃棄物を減容および再利用したい。	<ul style="list-style-type: none"> ●放射性廃棄物の処理に当たり、保管・処理・処分コストの低減等の観点から、処理量を安定的に削減（減容化）することが望ましく、そのための手法を検討することが求められる。 ●対象となる廃棄物は、汚染水、ガレキ、デブリ取り出しに伴って出される構造物等、水処理二次廃棄物、土壌等であり、既に発生しているもの、これから発生するものを含む。 ●また、放射性廃棄物量の低減とその処理処分コストの低減のため、汚染土壌等については再使用・再利用することが望まれる。 ●コンクリート部材における減容も重要であるが、リサイクルして用いる可能性もあるので、減容化とリサイクル双方の考え方を整理することが求められる。（例 部材のまま、分離解体、材料まで還元してリサイクル、など） ●多相酸化物、金属複合物質の物理的、化学的分離による減容化の知見を収集することが求められる。 	【実施されている研究課題】 H30年度英知「汚染土壌の減容を目的とした重液分離による放射性微粒子回収法の高度化」				
			【検討されている研究課題】 「構造物等、水処理二次廃棄物、土壌等の分離による汚染物の分離除去技術の開発」				
関連する課題		処-203「処分概念の構築」 処-204「性能評価」 処-205「廃棄体確認、分析方法」					